

# rongorongongo

茨城キリスト教大学  
文化交流学科

茨城キリスト教大学文学部文化交流学科 〒319-1295 茨城県日立市大みか町6-11-1 TEL 0294-52-3215 FAX 0294-52-3493

## 入学記念行事

5月9日～10日

文化交流学科が新入生を対象に行う一泊旅行に、日本人学生70名、留学生14名、教員12名が参加しました。5月9日は国土地理院「地図と測量の科学館」を見学後「つくばフェスティバル」に参加し、外国人にインタビュー。夜は、午後のインタビュー結果の発表や知的ゲーム。10日は筑波山、筑波山神社周辺を自由散策しました。

### 堪能な英語に驚いた

●つくばには、本当に沢山の国の外国人がいました。中には、初めて聞く名前の国の人もいました。でも、どの外国人も英語が堪能で3、4、5ヶ国語話せる人も多かったのです。(母語+英語+日本語など)このような外国人と触れ合う行事企画は私にとって初めてだったので、とても良かったです。 [天塚美波]

### 外国人と仲良くなれた

●インタビュー時、話しかけるときはすぐ緊張したけど、一言話したら、とてもフレンドリーに話してくださったのが嬉しかった！ 私自身、外国人の友達がいるので、やっぱり外国人だろうが日本人だろうが仲良くなれるんだ！と改めて感じました。 [佐藤千奈美]

### 相手の母語で挨拶

●つくばフェスティバルでの課題は、言葉が上手く通じなくて大変だったが、インタビューした人の母語で「ありがとう」を言ったら、とても嬉しそうにしてくれたのが印象的で私も嬉しかった。来年は個人で行ってみたいと思った。先生達の企画したゼミ別の対抗ゲームは、少し知的で、ユニークでとても面白かった。 [柴田由布子]



つくばフェスティバルにて 外国人にインタビュー

### 日本を見つめ直す

●日本以外の国の人たちとたくさん交流ができた。中国人の留学生たちとも部屋が一緒になり中国の文化を教えてもらったり、日本のことを教えたりした。異文化を理解することで、日本を見つ

### 世界はつながっている

●班行動を通してさまざまな国の人との交流が深められた。特に一番印

【2面4段に続く】

## 新入生歓迎会

4月25～26日

学生主体で新入生を歓迎する行事、通称「新歓」。福島J・VILLAGEでチーム対抗リレーなどのレクリエーションが行われ、百二人が参加しました。

### 友達がたくさんできた

◆私は入学当初から友達と新歓に行くことを決め



チーム対抗でのレクリエーションに参加する新入生

ていたので、申し込みが

始まってすぐ申し込みに行きました。そこで最初につなぎを着たスタツ

フの先輩と仲良くなれて、もつと新歓が楽しみになったのを覚えています。二日間、天気が悪かったのは残念だったけど、企画・バス・部屋は全部メンバーがばらばらで、たくさん友達ができまし

た！あと、一年生だけでなく、先輩と仲良くなれたのも嬉しかったです。新歓に行って良かったと思えました。 [堤夏織]

### 思いっきり楽しめた

◆新歓に参加しよう！

そう決めた理由は、同じ学科はもちろん他の学科にも友達を作りたいと

【2面6段に続く】

## カンボジアの現在

### 松岡秀司氏

4月20日、文化交流論の授業と言語文化研究所の共催による講演会がありました。カンボジアでのボランティア活動・日本語教育を行っている松岡秀司先生に、現地の現状や問題点など、スライドを用いながら説明していただきました。

松岡先生はまた、アンコール大日本語教員でもあり、幅広く活躍されている方。講演を聴いた学生の感想を、ご紹介いたします。

### 文化交流学科講演会

#### 若者のリアルな心境

◆話に乗っているものが結構ありましたが、そこから一歩も二歩も踏み込んだ内容でした。松岡先

【5面に続く】



松岡秀司氏

### 09年7月号目次

- ◆1面 入学記念行事
- ◆新入生歓迎会
- ◆文化交流学科講演会
- ◆2～3面 留学生紹介
- ◆4面 ICサポーターズ
- ◆就職活動 実況中継
- ◆5面 就職活動 実況中継
- ◆6～7面 染谷先生インタビュー 後編
- ◆8面 学業優秀賞
- ◆ボランティアサポート基金
- ◆編集後記

# 茨キリへようこそ

## 留学生のみなさん

中国 韓国

四月に中国天津師範大学からの留学生9名、韓国明知大学から5名、韓瑞大学から2名の留学生が来ました。2名の留学生に日本に来ての感想などを書いて頂きました。

### 始めて見た桜は

#### とてもキレイ

天津師範大学 王晶

私は日本に来てから、

もう2ヶ月が経ちまし

た。この2ヶ月は生活す

るのがとても充実してい

ました。私は次第にここ

の生活に順応しました。

私は中国にいる時は、天

津師範大学の学生です。

先生を通して、筆記試験

と面接試験を受けて、機

会があつて茨城キリスト

教大学へ学習に来まし

た。

私は昔からとても日本

が好きです。だから、私

は切実に日本の留学が深

く極めると思いついて、

自ら実際の生活を体験し

て、深く突っ込んで日本

の各方面の知識を理解し

たいです。 はじめて銀行に行くとき、はじめて自分でホテルに行つて、はじめて買い物をして、はじめて日本人ときちんとした対話をしました。 はじめての事をしました。 はじめてのことばかりです。 私の留学の生活の中でいろいろな多くの体験、この上なうれしいと感じます。 さて、私は日本語の中で最もおもしろいのが外来語だと感じました。 読み方は少し英語のようですが、日本語だけにある特色を保留しています。 ほんとうにおもしろいです。 聞くところによると若い人の間では外来語を

使うことが流行しています。そして私もがんばります。 その反面、日本語を勉強していて難しいと感じるのは敬語です。 尊敬語と謙讓語と丁寧語の使用法が私はいつもはつきり分かりません。 私は文化交流学科の編入3年生です。 私は中国と日本の文化に興味をもっています。 そして、日本でこれか

らしたいことは外交官です。 中国の周恩来首相のような外交官です。 さらに、私は日本の文化の中で、職場における女性の地位の変化に興味があります。 現在、結婚後も仕事を続ける女性が増えています。 出産で辞める例は少なくなっています。 育児をしながら仕事

【3面に続く】

### 入学記念行事

〔1面から続く〕

象が強かったのはモザン

ビークから来ている男性

2人と中国人女性1人の

3人と話していた時だっ

た。3人とも日本語があ

まり話せなかったので僕

達も苦労したが、英語で

何とか最後にはお互いの

ことを分かり合うことが

できた。このことで世界

はつながっているのだと

いうことを改めて知っ

た。 「五十嵐亘」

#### 中国に興味を持った

●私は、他国の人と交流

できてとてもいい経験が

できた。インタビューを

するのに、自分達が喋れ

る英語をつなぎ合わせて

ぐだぐだながらも話せた

りして、言葉が通じなく

ても、会話は何とかでき

るのだと思つた。

夜は、中国人留学生と

たくさん話をして、日本

とは全く違うことに気付

いた。指輪をつける位置

にもちゃんと意味がある

のだなと思ひ、中国に興

味を持つこともできた。

〔小野崎 綾香〕

#### 来年度も行くべき行事

●外国人とのコミュニ

ケーションができて行っ

てよかつたと思いまし

た。文化交流学科の子

たちも少し距離が縮まっ

た気がします。来年も絶

対行くべきだと思いま

す！今度は、いろんな

国の料理を食べてみたい

です。 「河村愛美」

#### 質問に快く答えてくれた

●私は韓国人留学生と一

緒に行動したが、彼女た

ちの日本語の流暢さには

驚いた。また、つくばフェ

スティバルに参加してい

たいいろいろな国の人た

ちが私たちの質問に快く答

えてくれたのが、とても

印象的だった。

これからいろいろな

国の人たちと話をしてい

ろいろな視点から物事を

捉えられるようになりた

いと思つた。また、英語

を一生懸命勉強したい。

〔伊藤愛理〕

### 新入生歓迎会

〔1面から続く〕

思つたからです。バスの

席も部屋も知らない子ば

かりではじめは心配な面

も多くありました。しか

し今思うと、みんな優し

くおもしろい子ばかりで

二日間思いっきり楽しめ

たと思います。

今では新歓でできた友

達と出かけたたり、先輩と

交流する機会も増え、新

歓に参加してよかつたと

心から思います。

〔木村麻裕〕

#### 違う学科の

友達ができた

◆はじめはとても不安が

いっぱい、早く帰りたい

入学記念行事・ホテル青木屋にて



新入生歓迎会・全体でのレクリエーションに参加する新入生



いなと思つていました。でも、役員の先輩やアドバイザーの先輩がみんな優しく接してくれたし、企画を通して全く知らない人たちとも仲良くなる事ができてとても楽しむことができました。二日間という短い中で違う学科の友達もたくさん作れたし、先輩たちとも仲良くなる事ができたので本当に参加して良かったなと思います。い思い出ができました。 「根本彩」



写真左上から  
 ソンアデイ 孫婷婷さん  
 カクオンカ 郭恩嘉さん  
 キピン 魏敏さん  
 ニンホウエイ 任萌穎さん  
 ヘンガクナン 辺学楠さん  
 オウショウ 王晶さん  
 ソンコウエイ 宋広影さん  
 カンショウ 韓笑さん  
 シンエン 秦艶さん

日本語にない漢字もありますので中国語の漢字に近いものを使った場合があります。

を続ける女性も増えていきます。日本に来て私ははじめて桜を見ました。日本の桜はとてきれいです。桜は中国では見れないのです。

私は目標を持って日本に来ていたので、充実した時間を過ごせると思います。中国にも多くの伝統の文化があります。どうぞ遊びにいらしてください。

それから目標が出来たのもっと勉強が出来ました。具体的なものではないし、ただ軍隊という厳しいところから勝ち抜く目標が必要でした。たぶん、その時は日本に行くのは僕の2年間の軍隊の償いが出来ると思ったのがきっかけです。

私にとって難しいと思った日本語は「してもらう、させてもらう」でした。韓国の文法にはないので、分かり難い表現でした。日本語の特徴の一つが「直接話せない」相手の要求を断っても、

例えばデリケート、グルメ、テンション、グッズ等、その表現をお父さんとかお母さんたちも使っていてびっくりしました。そして英語が出来ないとおっしゃるなか、英語の単語をお使いになっ

日本に留学をしたいと考えたのは軍隊にいる時でした。何となく学校のホームページに入った時アップロードされた 공지事項を見て、1年間交換的に日本で勉強することができるというお知らせに魅力を感じました。

日本語が面白いと感じることは英語から派生した単語がいっぱいあるということですが、もともとは英語だった単語が日本に流れてきてだんだん吸収されていきました。例えばデリケート、グルメ、テンション、グッズ等、その表現をお父さんとかお母さんたちも使っていてびっくりしました。そして英語が出来ないとおっしゃるなか、英語の単語をお使いになっ

相手への気持ちに傷が付かないようなデリケートさがあります。比べて見れば韓国の場合は、直接言うほうが後で誤解を招かないです。

韓国では友達と一緒に旅行に行って砂浜でビールを一杯飲むのが好きです。もちろん、酔っ払うまではないですけど、ゴザを敷いて少し酔って夜空を見るのが好きです。

文化はそれぞれ国によって違います。それで、外国人の場合にはその国の全てが珍しく見えます。その中でも私の興味を引いているのは江戸幕府末期の歴史についてです。何故ならと言われ

文化はそれぞれ国によって違います。それで、外国人の場合にはその国の全てが珍しく見えます。その中でも私の興味を引いているのは江戸幕府末期の歴史についてです。何故ならと言われ

# 日本留学の魅力

明知大学 劉昇鐘



去年大学で受けた空間デザイン授業のおかげで日本の建築デザイナーについての興味がいっぱいです。特に私が発表した建築物の实物を見たのです。万が一、デザイナー葉祥榮(ようしょうえい)さんを見ることが出来たら嬉しいです。夢はまだですけど、目標はあります。世界的な自動車メーカーに就職したいです。

はじめて日本に来た1ヶ月ぐらいはもちろん寂しくて調子が悪くてホームシックで大変でした。でも国際交流部の職員さんたちの心遣いのおかげで、今は完全に慣れました。たまには東京に行ったり自転車で乗ってどこかにぶらりと行きます。

文化はそれぞれ国によって違います。それで、外国人の場合にはその国の全てが珍しく見えます。その中でも私の興味を引いているのは江戸幕府末期の歴史についてです。何故ならと言われ

文化はそれぞれ国によって違います。それで、外国人の場合にはその国の全てが珍しく見えます。その中でも私の興味を引いているのは江戸幕府末期の歴史についてです。何故ならと言われ



写真左上から  
 ベクヒョン 白喜善さん  
 ソヒョン 裴素賢さん  
 キムスルキ 金瑛綺さん  
 パクギョン 朴基仙さん  
 ハンナ 裴ハンナさん

写真にはいませんが林承祐さんも明知大学から留学中です。

# ICサポーターズ

文化交流学科 4年次 黒澤英昭

ICサポーターズは、オープンキャンパスやオープンプログラムの時に来てくれた高校生に大学について知ってもらおう手助けをする人たちです。

内容としては、高校生から大学についての相談を聞いたり、学科や大学の説明をしたり、キャンパスツアーで学内を案内したり、道案内などをしたりします。

オープンキャンパスの時には、たくさんの方と交流ができ、何回も来てくれる高校生に顔を覚えてもらい仲良くなることも可能です。そんな高校生に話かけてもらえると、本当に嬉しいです。

オープンプログラムの時は、普段の大学生の普段の授業風景を見られます。毎年たくさんの方の高校生が来てくれて、大変人気が高いそうです。そこでは、自分のオススメ



インドタッチを修得したり、今の時代無くてはならないパソコンについて勉強できます。

他にも専門的な分野の講義がたくさんあります。学科の先生方はみんな個性的で面白い方々です。自分には無いいろいろな考えを持っている先生の講義やお話を聴くことで、自分の考えを深められ、自分の成長にも繋がります。

文化交流学科は、個性的な先生と様々な専門の授業、明るい学生たちに囲まれて、カルチャーショック(文化交流)を与えあうことができる学科だと思いますし、そのようなことをオープンプランターでの活動で、高校生に伝えていきたいと思っています。

## 就職活動 実況中継!

準備力と行動力

文化交流学科4年次

齋藤大輔

私は、今年の1月から本格的に就職活動を始めました。民間企業では営業(車業界、住宅業界)を就職活動の軸として活動してきました。



就職活動するに当たり、大切なのは自己分析と業界研究だとキャリア支援センターのカウンセラーの方から聞いていました。キャリア支援センターのカウンセラーの方々の協力もありスムーズに活動が進められ、厳しいとされる業界に内定をいただき自信につながりました。

キャリア支援センターで面談していただく際には、何も準備しなくてもいいのではなく、自分なりに考えて準備して行くことが必要だと思ひ、自分なりに自己分析をし、

ついたことをこれからどう活かすか、というような所まで説明できるようにしました。

「過去、現在、未来というストーリー性が必要なんだ」と学びました。次は面接の対策に取り組みました。まず、キャリア支援センターで模擬面接をしてもらい課題を見つけて改善に努めました。面接は最初からできるわけではないので、自己分析で深く掘り下げたことを自分の言葉で話せるまで練習し、場数もこなしました。面接は慣れだと言われたのですが、その言葉が理解できる頃には面接での試験官との駆け引きができるようになっていました。

例えば、自己PRをするときに、アピールしたいことを「私は〇〇です、なので仕事でも〇〇を活かして頑張りたいです」というのは浅いので、その文章にアピールする点はどういった経験をして身につけたか、どうしてその経験が頑張れたのか、その経験を頑張ったと感じたこと、身に

張って感じたこと、身に

張ったことや学んだことを緊張せずに自分自身の言葉で、自信を持ってプレゼンできました。

面接では周りの人も同じように緊張していて、いざ面接だ!と、試験会場のドアをノックするとき、全員がフラットな状態でスタートラインに立っていて、これから真剣勝負しようとしているいろいろな人の顔をみると、「俺も全力でやってみよう!」と、モチベーションを高めることができました。

よく先が見えないと不安になると聞きますが、就職活動には答えなんてないので、反省はしても後悔したくないと思っていたので、周りがどんなことをしているかが、どう思われようが、自分がどうあるべきかを考えて、軸をぶらさずに頑張ったほうが、どう転んでも後悔はしないはずと、自分に言い聞かせて、先が見えないなら見えな

いなりに自分のやりたいように何でもできると、

【1面から続く】

生が若い方だったので、カンボジアに対する心境をリアルに聞いているようで、すごく聞き入ってしまいました。

私たちは安全な日本にいたいというのがありますが、そのような国への理解を深め少しでも現状を知らなければいけないと思いました。それにそれだけなら先進国に住む人間なら誰でも出来ることです。他国の様子を知らないというのはただ安全な日々を過ごす人たち

◆地雷の安さに驚いた。正直言って私は怖くて地雷除去活動はできない。世界中どこへ行っても結局は、金の問題なんだと思ひ悲しくなった。

やるか、やらないか

「やるか、やらないか」という言葉にとっても感銘を受けた。人は自分のためだけにしか行動しない

ものだと思っていたが、それはちよつと違うのではないかと感じる事ができた。

国の実態を知る

◆以前テレビでカンボジアのことを教育が不十分であると紹介してました。その時は、カンボジアの問題は教育面だと思ひました。しかし、今回の講義で教育以外にも生活面で多くの問題があることがわかりました。

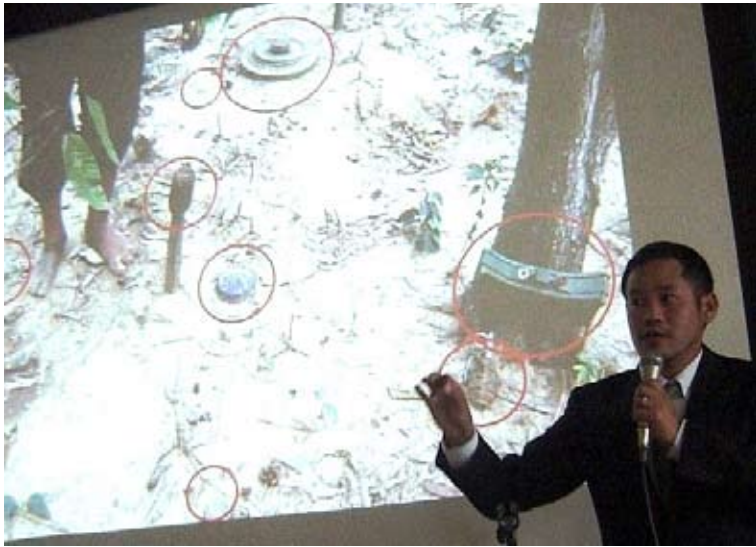
同じような話は聞いたことがありましたが、実感がわかなかったもので、今回は写真を見たり、現地に行つた方の話を聞くことができてよかったです。まずは国の実態を知り、そして自分出来ることを考えることが大切だという考えが強まりました。

まだまだ貧しいカンボジア

◆カンボジアという国は、TVなどで、前から地雷の問題などよく耳にしていたが、詳しく知ることはなかった。今日、松

岡先生の授業で、カンボジアの国の状況を深く知ることができた。カンボジアという国は「地雷のある国」というイメージが私の中では多かったが、他にも、水の衛生上の問題、教育上の問題など、まだまだ貧しい面がたくさんある。これらの問題を自分なりに理解して、何らかの形で少しでも貢献していきたい。

地雷について説明する松岡氏



不安を逆に楽しんで採用試験に挑んだことで、いい経験ができました。そして何より、頑張ろう！と共に戦う存在や、背中を押してくれる存在の方々がいたから頑張れたので、感謝しています。



不安との戦い

文化交流学科4年次

山崎智史

私の就職活動は公務員（事務）の勉強です。試験に合格し、面接を通じて採用になります。まずは試験を突破しないことにはどうにもなりません。なので、試験勉強が私にとって就職活動なのです。そこで、どのように勉強しているのかについて報告します。

現在の心持ちとしては、とても不安です。なぜかという周りのみんなは就職活動を活発にやっています、内定をもらった人もいます。そんな中、私は机に向かい問題を解いたり、お風呂の中で英単語や英文と格闘したりと、本当に就職へ向かっているのか不安になり、落ち込んでしまうことが度々あります。

私も内定を貰ってから勉強を頑張ればよかった。今からでもどこか受けてきた方がいいんじゃないのか。もし公務員に

なれなかったらどうなるのか、就職はできるのか。と悩んでしまいます。すると勉強が手につかなくなり悪循環になってしまっています。

だから、そんなことは考えないようにしようという事にします。しかし、その答えでは私を満足させてくれませんでした。その結果、現状を受け止めて悩むことは仕方ないことだから向き合っていかなきゃいけないと真面目に見つめてみたり、そんな悩んでいる時間をもつたいたいと勉強に逃げてみたり。宙ぶらりんな状態です。

一刻も早く現状を抜け出したい一心です。公務員の勉強で何が大変かという経済、政治、そして法律などの分野です。覚えることがたくさんありすぎてなかなか得点に結びつくことができません。そして勉強が嫌になつてしまいます。それが今の、一番の私の課題です。得意な分野は問題を解いていてどんどん

正解が増えて、採点して楽しくなります。でも、苦手なところになつてしまうと不正解の数が大変なことになつていて、どこか遠くへ逃げ出したくなります。その度、眠つてみたり、読書してみたり、モチベーションを高めて戦います。とにかく時間が掛かります。たくさん覚えなくてはいけないのに時間ばかり過ぎてしまい焦ります。だからスケジュールを組んで今日はどこまでやっておけばいいのかを決めておいて、不安を少しでも無くす努力をします。

私の就職活動は不安との戦いです。自分をどれだけ信じられるかが重要だと感じています。だから、自己分析をして自分と向き合っていきます。そして今IC寺子屋として経済学の勉強をやっています。木曜日の4・5時限にシオン館207号室でやっていますので、公務員に興味のある方は一度来てみてください。

一度来てみてください。

# 染谷智幸先生 ロングインタビュー

## 後篇

これからの

ネット社会とは

—インターネットやIT関係の授業も担当されていますが…。

染谷：地球市民論の授業でやっています。メディアというのは確実に変化している。一番最初の無文字社会から文字社会になって、今は、テレビ時代からインターネット時代へと変わってきていて、これから、ネット中心社会になっていくのは間違いない。

そこで重要なのは、新しいメディアが登場するときには、古いメディアのスタイルを借りながらやっていくということ。

例えば、みなさん本を読むけれど、全部デジタルで作っている。昔は「活字文化」といった。活字は金属にハンコのように彫ってあるやつ。それをいっばい並べていき文章にする。それが活版印刷。昔は本を作るときには、活字を全部拾ってきて並べていた。植字工という専門職。

ところが今、コンピュータが出てきて、そういう人はい

前号(4月号)のインタビュー前篇に引き続き今号は、染谷先生インタビュー後篇をお楽しみください。  
(文責：編集部)

らなくなった。わざわざ本にする必要がないのかもしれないけど、まだ本っていうものがあるのを使っている。もう全部デジタル化されているわけだから、実際はもう活字文化じゃない。だけど新しい文化が出てくるときに古いメディアのスタイルを取ってそれに合わせて出てくる。ある程度それが進んでくると独自のクなものとか…。小説みた

のものが出てくるんです。まだ、ネットというのは独自の文化が出てないのかもしれない。例えば、本を出版するとい

い新しい形態の文化がネットにも出てくるんじゃないかなと思います。何より、遊び感覚っていうのは大切だと思います。ネットの世界にどんどん触れて新しいネット社会から何が出てくるのか。そういうのも楽しみながら、突き詰めていくと面白いと思います。

### 若者が生む新しい感覚

—何が出てくると思いますか。

染谷：全く想像つかないね。だってグーグルが出てくるのが想像できなかったもの。僕は検索っていうのは大事だなと思ってました。ですがまさかこんなことになってくるとは。つまりグーグルの検索結果で、トップ10に入らないと、株価が下がるとか。そういう時代になってしまった。10位に入るために必死になって努力する。そのためにみんな良いホームページを作ったり、良い商品を作ったりする。そういう時代になるとは思わなかった。だからもう僕の頭で

は駄目です。みんなの新しい感覚っていうのかな、みんなが予想してみてください。その方が当たると思います。僕はもう50年生きてきたから積み重ねがあるわけです。逆にそれが予想するときに邪魔をする。

### 文化交流が考えを柔軟にさせる

#### 柔軟にさせる

今年(08年)の二月と九月

にカンボジアに行って、ゴミ山に行ったり、小学生に会って一緒に遊んだりして、いや楽しかったね。だけど既成概念っていうのはそういう時に、人間の交流を阻害する。まずは自分の小学校とか小学生時代を連想してしまいうわけ。

その時僕らが向こうの子供達にお昼をごちそうしようと思っただけで、食べ物を三百人分買ったんですが、「いただきます！」と言って食べるのかと思ってた。全然そうではなくてもうできたら食べる！ワーツと食べて、食べ終わったら何も言わないでワーツと逃げて帰ってしまう。戦場のようになっていた。それで、一人一つずつパンをあげるんですけど、ある男の子は三つも四つも持って逃げるわけです。それでは足りなくなってしまうから、こっちは必死でその子を追いかけながら「こ

ら」と言ってもう頭に血が上っていた。こんな筈じゃないところがあった。それでパンを取り上げる、すごく悲しそうな顔をさせるのではありませんか、どうも「お父さんとお母さんに持つていってあげるんだな」と気付いた。だから持つて行けなくなると悲しそうな顔をしている。するとこっちは切なくなっている…。

—韓国にハマっているという話ですが？

染谷：元々僕は韓国をあまりよく知らなかった。うちの学科ができた時に中国専門の先生が入ってこられた。でも韓国方面はなかったんですよ。それに韓国からの留学生も来るということで、勉強し始めたから俄然面白くなって、それが高じて年に4回5回は韓国に行っています。

同じところもたくさんあるのだけれど、隣なのに全然違うんですね。そういうところが非常に興味を持ちました。「鏡の国のアリス」ですね。特にそのことを感じさせるのが、日本の江戸時代に向こうは朝鮮時代。これはまったく真逆の世界なんですよ。

それから、感情をはっきりだしますね。日本人は感情を出さずにできるだけ抑えるけど、向こうでは強く出しますし。

### 既成概念を捨て、

### 今あるものに目を向ける





# アジアンボランティア サポート基金

IC-ANN

ボランティア・サポート基金よりご報告です。

6月8日〜23日にわたり、アジアンボランティア・サポート基金の募金キャンペーンを行いました。現時点で約6万円が寄せられました。たくさんのご協力、ありがとうございました。

この募金は毎年夏季休業中にカンボジアにて行われる「日本語・英語教育ボランティア」や、現地の学生の学業支援などのボランティア活動をサポートする目的で使われています。

また、昨年はミャンマーの大洪水や四川省の大地震の被災者をサポートしたように、

要望があれば様々な方向に援助をしています。学部や学科を問わず、学生、教員、聴講生などが呼びかけに参加。通称「ボラサポ」として活動の規模は広がっています。

この活動に参加している文化交流学科4年次の梶山真矢さんは「この活動は4年目になります。『今年もボラサポをやるの?』と友達から声をかけてもらったり、学生が寄付をしてくれることが多くなった。これからの活動を見かけたら、関心を持って立ち止まってもらえたら嬉しいです」と、多くの人の参加を呼びかけています。

〔編集部・佐々木〕



1号館ラウンジで募金を呼びかける 写真右：梶山さん

今年度から、学生の学習意欲を高めるとともに大学全体の活力を向上させることを目的として、「学業優秀賞」が設けられました。選考委員会によって学業が優秀な学生に賞が与えられ、卒業まで大学院生と同じ資格で図書館を利用できます。また、その中から一部の学生には翌年度後期授業料が免除となります。

## 学業優秀賞

.....受賞者の中から2名の方に勉強の秘訣を教えてくださいました.....

### 大学の勉強は楽しい

文化交流学科 4年次  
川崎 美穂

この賞を受けたことに對して、とにかく驚きました。

レポートには文献を3、4冊は使うようにしていました。授業のノートを取る際には、気になったことは必ずメモをするようにしています。自分にとって難しい授業は、復習をその日のうちに学校でやっていました。一つの講義に対して、授業用と復習用のノートの2冊を作っていて、インターネットや本を調べたりするなどの復習をしていました。それでもわからない所は先生に質問していました。モチベーションを上げるためには、自分が好きな先生の授業を取ることが



6月1日(月)キアラ館礼拝堂で授賞式が行われた



野沢さん・川崎さん

夫の一つだと思っています。高校の授業に比べて、大学では学びたいことが勉強できるので、楽しいです。

### 時間的余裕をもって取り組む

文化交流学科 4年次  
野沢 恵美

第一に、授業を休まないことを心がけていました。レポートの期日は、来週や再来週であったとしても「明日が提出日」だと思ってしまうので、自分を追い詰めて、余裕を持って提出しています。そのため、何回も手直しをする余裕を持ってました。

私は、成績評価がテストのもの苦手だったため、レポート提出の授業を選んでいました。良い評価を取りたいという心がけと向上心を持って授業に臨めば、勉強は苦にならないと思います。

### 文化交流学科の受賞者

2年次

井川 二美・菊池 美里・小池 夏子

3年次

浅野 千亜紀・笹沼 綾乃・高橋 真生

4年次

保科 景子・川崎 美穂・野沢 恵美

### 編集後記

■学生生活もいよいよ後半戦。今までの2年間が長かったようで短いような、複雑な気持ちです。

これからも、気を抜かず残りの学校生活を過ごしていきたいです。 [長谷川 勇]

■あつという間に、半年も終わりに……。いつものように何もせず、ぐだぐだと毎日を過ごしています。

少しは学生らしく勉強をしなくては!と思う、今日この頃です。 [笹沼 綾乃]

■むしむしの梅雨の日々は、歳のせいかわたらと疲れま。仕事が積もってしまっ。参っています。それでも今年もカンボジアに行きます。 [藤田 悠]

ロンゴロンゴとは南太平洋ポリネシアのイースター島で昔作られていた「物を言う板」です。この板には文字のようなのを書いてありました。この文字はまだ解読されていないそうだが、これは鳥の人々に歴史や情報を伝える板でした。

### 編集部員募集

ロンゴロンゴ編集部は、今年度は毎週水曜日のお昼休みに3号館5階の編集室にて会議をしています。

アットホームな雰囲気です話し合いをして記事の企画をし、担当ごとに取材や原稿を依頼するなどして、記事を作っていきます。

インデザインというソフトが使えるようになったり、原稿のやりとりから自然と丁寧な言葉づかいができるようになったり、様々なことに関心を持てるようになるなど、楽しいだけでなく身に付くこともたくさんあります!

色々な人と関わってみたい人、写真を撮るのが好きな人、学生時代に何かとまっつてやってみたい人は一度見学に来てみてください!

また、質問や感想などもお待ちしております。

●編集部メールアドレス  
rongorongo\_hensyubun-  
owner@ahoogroup.jp

●本紙WEB版はバックナンバーを含めて大学のHPでらんになれます。

http://www.icc.ac.jp/  
univ/bunka/rongorongo/  
rongorongo.htm